

環境の都ニュース

2022.7.1 NO.112

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子

美しい竹林をめざして



NPO 法人 竹の学校理事長 稲岡 利春

長岡京市環境の都づくり会議様が本年度で発足して 20 周年を迎えられ、会員皆様の熱意と努力に敬意とお祝いを申し上げます。



環境の都様とは一般市民に放置竹林に関心を持ってもらうという共通の目的の下、2011年から2016年まで「竹あそび」で、その後、「竹あかり」「サボセンフェスタ」等への参加を通じ、特に竹林再生グループとの協力関係が続いています。2016年には、長岡京市に竹林整備の補助金を共同で申請し、軽トラックを共同所有することになり、高齢化したボランティア会員の作業の負担を減らすことができました。また、2016年からの茨木高校の体育祭用竹材約 200 本の共同伐採・搬出作業に、環境の都様を始め、長岡京市農林振興課様、石田ファーム様から応援を頂き、竹の学校だけのスタッフ不足をカバー頂ける協働体制も継続しています。

竹の学校は長岡京の美しい財産の竹林（たけのご畑）に魅せられ、前身の「竹林友の会」から 2007 年の NPO 法人化（「竹の学校」）を経て今日まで自然環境問題と京たけのこの伝統栽培と竹文化の創造を目的に活動してきました。具体的には、竹林の景観を守る放置竹林整備（23,000 m²）とタケノコの京都式軟化栽培法を実践し、乙訓の伝統農業を継承、里山の復活を目指します。

美しく明るくなった竹林ではシイタケ栽培や花壇づくりも展開し、タラの芽も増えています。さらに、水資源の涵養にもつながっています。

竹と共存する間伐による竹林整備は終わりが無い維持活動ですが、会員の高齢化に伴い作業が負担になってきています。男性はようやく団塊世代が少し増えつつありますが、子育てを終えた元気な女性が増え、里山（竹林）の「食」を楽しんでいる姿を見ると男性たちを尻目に「竹の女学校」を予感させます。

竹の学校は自主的に活動目標を立てて実践する、竹林整備が主目的の実践活動団体です。今後は竹林を利用したタケノコ掘りの受け入れや竹林内での流しソーメン、おにぎりや豚汁パーティなども復活していきます。

楽しみながら長岡京市の美しい竹林を守りませんか！



寂照院竹林の竹種場



竹林再生 PJT

筍掘りを無事終えて・・・

PJTリーダー 湯川圭造

今年も3月27日～28日、4月1日と放置竹林3ヶ所で筍の初掘りを行いました。平場の藪でも1人当たり数本の収穫で、山手の藪にいたっては殆ど筍の姿がなく、今年も不作かと嫌な予感が・・・。

しかしそれは杞憂に終わり、その後は週3回を基本として、延べ25回、1回あたり平均10人の参加で10ヶ所26,000㎡の放置竹林で約7,000kg(約10,000本)の筍が

収穫できました。この筍を放置すればやがて15～20mの竹になって西山の森林荒廃に繋がっていたと思うと、これは立派な西山の緑地保全、生態系維持活動であり、また、地産地消にも貢献できたものと自負しています。

また、小学校、保育園の子どもたち(4/、9、13、23)や地域のボランティアグループ(4/8、4/16、17)、市民を対象にした筍掘り(5/2)などのイベントを開催し、楽しみながら地域の恵みを実感し、放置竹林問題への意識づけなどにもつなげることが出来ました。これからも引き続きこの活動は継続しなければと強く思わせられる次第です。

豊作の竹の子のお蔭で今年もいい竹林保全活動が出来ました。感謝！！



ゆりかご保育園筍掘り



五十樓竹林出荷準備作業



ボランティアグループ筍掘り

ビオトープ PJT

長岡第三中学校の環境問題を考える体験学習を支援しました！

～長岡京市の放置竹林の問題を考えよう！～

PJTリーダー 神山 忠

梅雨前の晴天の一日、第二学年192名の総合的な学習として放置竹林整備体験を「竹の学校」様との二人三脚で実施しました。竹の生命力や放置竹林の環境に及ぼす影響などの勉強の後、いざ竹林へ。

身近にありながら普段は入ることのない放置竹林へ40名ほどのグループ単位で作業開始。悪戦苦闘しながらも仲間同士呼吸を合わせ、15mほどの竹を伐採し、倒れた竹を数本に切り分け、枝払いなどの一連の作業を体験。また、廃竹の有効活用のためのチップづくりと竹林への散布作業にも汗を流しました。

理屈ではなく、肌で感じる作業を体験することは、放置竹林問題への自らの関わり方や竹林や森林の将来を考える機会になり、また協働して作業に当たることの意義を感じてくれたと思っています。

自ら伐り出した100本ほどの竹は「みんなの想火」という日本の和の精神で世界へ希望のメッセージを伝えようという全国一斉の竹あかり活動に提供すること。生徒たちの活動が目に見える形になることで今回の作業に一層のやりがいや自己肯定感に繋がることにもなるでしょう。これからも将来を担う子供たちが少しでも身近な環境問題に関心を持ち、行動に移してくれることを楽しみにしています。そして、何より子どもたちが青竹のようにまっすぐに成長してくれることを願っています。



花を咲かそう PJT

花の植え替えもちよっぴり寂しい

PJTリーダー 奥西弘武



植え替え前の体育館
(ナデシコがきれい)

前号では「3月の花壇の花は凍傷で可哀そう」と報告し、4、5月には華麗に咲き誇るでしょうと書きましたが、花が綺麗な時期は竹林作業で忙しくて見に行けていません。

花の植え替え日が迫ってきたので5月19日メンバー全員で体育館、公民館に分かれて古い花の掘り起こしと整地に赴きました。なんと！まだまだ元気な花が私たちを迎えてくれたのです。あちこちから「この花を抜いてしまってもいいの？」の声上がりましたが心を鬼にして「新しい花のためには古株は藪の肥料に！」です。5月26日、27日には体育館、公民館に新しい花苗が届き、



水遣り手入れ公民館
(枯れ花を摘みコーナー)



回り一帯の菊も刈り込まれて
綺麗な花壇/体育館

想いを込めて植え付けました。今年からは平野サブリーダーと小林さんがそれぞれ花壇設計を担当し、植え付け直後から総勢36人が分担する水遣り体制を敷いて奮闘しています。

里山再生 PJT

春の西山は花や虫がいっぱい

PJTリーダー 加藤克巳 サブリーダー 古澤登美代

コロナ禍の中、募集人数を制限し、午前中でしたが無事開催できました。西代里山公園管理棟前から西山キャンプ場まで、自然観察指導員京都連絡会の同行で春の動植物を探しながら歩きました。サポート役の当会は、説明し過ぎることのないように、興味を引き出す声かけをしながら植物、動物を五感で観察するお手伝いができたと思います。

ゴールでは各々が採取した動植物をテーブルに並べ「店開き」。

子どもたちは自然観察指導員の解説やクイズ、野遊びの説明などに熱心に聞き入っていました。新緑の西山は、動植物がいっぱいで魅力的だと再認識しました。次回、夏の部は8月13日(土)の予定です。8月広報長岡京をご覧ください。



エコ PJT

廃棄プラスチックの削減について

第1回 企業の取り組み編

PJTリーダー 田原誠一郎

深刻な海洋プラスチックごみ問題や、脱炭素・脱化石燃料の点から、プラスチックを廃棄することは大きな弊害の起こす原因となることが知られており、私たちはレジ袋の持参などその削減に努力しています。

一方、今年4月1日から、「プラスチック資源循環促進法」が施行され、プラスチック材料を使用した製品を提供する企業も、いろいろな削減方法を検討実施しています。今回はその一部を紹介し、廃棄プラスチックの削減方法と使用例を表にまとめました。私たちが製品を購入するときは、このような企業の対応を生かして、少しでも廃棄プラスチックを少なくするような買い方をするようにしたいものです。

参考資料「セブン&アイグループの環境宣言 GREEN CHALLENGE 2050」
「プラスチック問題と、コープ商品の取り組み」
「カネカ生分解性ポリマー Green Planet®」

	廃棄プラスチックの削減方法	使用例
1	プラスチックの使用量の削減 ・容器軽量化、紙化、ポリ袋の有料化 ・生鮮食品のバラ売り	・洗剤用ボトルの薄膜化 ・詰め替え用紙容器入り製品 ・生魚、肉類、トマト、キュウリ等
2	回収プラスチックの再利用 ・回収しやすいプラスチックの使用 ・包装容器の簡素化	・回収 PET ボトルを使用した容器 ・ノンアルミパック素材容器
3	環境にやさしい原材料の使用 ・天然素材の使用 ・生分解性プラスチックの使用	・紙製容器への転換 ・間伐材の使用 ・ストロー、スプーン、フォーク

ここCOライブ PJT

「キッズテン」竹ドミノ倒し

PJTリーダー 西村日出男

放課後子ども教室「すくすくキッズテン」の活動として、竹林整備で間伐した竹を使って竹ドミノ牌を作り、竹ドミノ倒しをしました。楽しく竹に触れてもらい、竹林の実状を少しでも知ってもらおうのがねらいです。

最初に間伐している竹林整備の動画を見てもらい、竹のお話をしました。次に2組に分かれて、それぞれ100個の竹ドミノ牌を並べてもらいましたが、途中の障害物を避けたり、階段を上り下りしたり、トンネルをくぐったりして、子ども達は並べるのに苦労しました。



そして同時に倒してゴールすると、ウクライナの国旗が揚がりました。早くゴールしたチームが勝ちです。大歓声でした。終わってから書いてもらった感想には「竹は、カビができるなんて知らなかったです。竹はいろんなものに变身するんだなと思いました。」「今日は、動画と話がたのしかったです。」「またやりたい。竹ドミノほしい。竹のことが知れてよかった。」などがありました。



京都府産 **とよのこ**

こだわりの商品を全国へお届けいたします

小川食品工業株式会社

〒617-0833 京都府長岡京市神足四反田13

TEL:0120-438-166 FAX:0120-151-795

URL:http://www.takenoko.co.jp

ひろみ社会保険労務士事務所

代表

木和 宏美

KIWA

HIROMI



〒617-0813

京都府長岡京井ノ内下印田24-1 アネーロ長岡京101

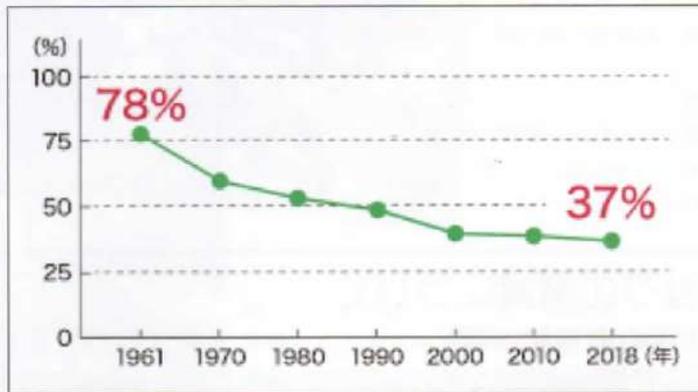
TEL 090-3490-3550 FAX 075-925-8565

mail kuromi-810@outlook.jp



ご存知ですか？

日本の食料自給率…長期的に低下傾向で推移しています



日本の食料自給率（カロリーベース）の推移

1961年には78%もありましたが、今ではその半以下です。

左のグラフは2018年の数値ですが、2020年のデータも37%となっています。

なお、上記は「カロリーベース」の表記で、『生産額ベース』の表記に変換すると、37%は『67%』と数値は大きく表記されますが、推移低下の傾向には変わりはありません。

(農林水産省 令和4年3月 資料より)

地球規模で起こっている異常気象問題、国際紛争等の影響もあり、食料自給率向上は我が国にとって喫緊の課題（食料安全保障）と思われます。

(文責：江川宗治)

コメ	98%	野菜	76%
魚介類	54%	果実	32%
大豆	22%	小麦	17%
畜産物	15%	油脂類	3%

品目別の自給率（いずれもカロリーベース）

NHK サクサク経済 Q&A より



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越 聡

2022年環境年間行事日程 直近版(7月~9月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	ここCOライブ、等
7	環都ニュース発行(7/1)	森林ボランティア(7/3)	すすく川遊び(7/4長四小)	竹林整備活動(7/4,18)	体育館、公民館花壇の水遣り	「家庭での省エネ」発信	記事掲載(7/1)
	月例会議(7/12)	森林ボランティア(7/17)		竹林整備体験会(7/10,24)			竹ドミノ倒し(7/2,長十小)
	長岡京竹ドミノ大会(7/23)	夏休み工作教室(7/30)		3PJT 合同例会(7/17)			
8	打ち水大作戦(8/2)	森林ボランティア(8/7)		8月上旬3PJT 懇労会(亀岡)			
	月例会議(8/9)	ファミ探・夏(8/13)		8月の竹林整備は夏季休業	体育館、公民館花壇の水遣り		
		森林ボランティア(8/21)		3PJT 合同例会(8/21)			
9	名月の宴(9/10)	森林ボランティア(9/4)		乙訓JC竹あかり(9/4,天神公園)	体育館、公民館花壇の水遣り	エコPJTMe(予定)	
	月例会議(9/13)	乙訓JC竹あかり(9/4,天神公園)		竹林整備活動(9/5,19)			
		森林ボランティア(9/18)		竹林整備体験会(9/11,25)			
				3PJT 合同例会(9/18)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel.080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容と写真などがあります。

都づくり会議

検索



編集後記

コロナ禍でも竹は待ってくれません。竹林整備活動に長三中の生徒たちが、学校をあげて参加してくれたのは画期的な出来事でした。しかも「竹の学校」と協働受入れ！「生徒らよ青竹の如天を衝け」(西村)